

尼崎市で「こども救急法教室」を開催しました

8月16日、尼崎市小田南生涯学習プラザにおいて、小中高校生を対象に「こども救急法教室」が開催され、兵庫県支部から救急法指導員を派遣しました。市内から小学生9名とその保護者が参加し、兵庫県立尼崎小田高等学校「看護医療・健康類型」の生徒の皆さんがサポート役を務めてくれました。参加者は救急法指導員から一次救命処置の説明を受け、実際に、胸骨圧迫とAED（自動体外式除細動器）の練習をしました。休憩後、小学生でも楽しんで手技を身につけることができるように、訓練用人形のアプリを使って、正確な胸骨圧迫が行えていれば画面の中の救急車が先へ進んでいくミニゲームを実施し、4チームに分かれて競いました。ゴールが目前になると、それぞれのチームから拍手が沸き起こり、笑顔もたくさん見られました。救急隊が到着するまでの間、胸骨圧迫を続けることはとても大変だということを体験していただけたのではないかと思います。



いのちと健康を守る赤十字活動は
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
〒 □座記号番号:01110-0-1136
□座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

オンラインで学べる赤十字講習会のご案内

オンライン講習タイトル	内容	開催日	時間
今、考えようよ自分の健康☆	【健康生活支援講習】健康な高齢者をめざして	9月15日(水)	10:30~11:30
知っておきたい急病・手当の基本☆	【救急法】急病の手当	9月15日(水)	14:00~15:00
ちょっと知ってみたい。認知症 ☆	【健康生活支援講習】地域で支える認知症	9月28日(火)	10:30~11:30
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	9月28日(火)	14:00~15:00
みんなで学ぼう応急手当	【救急法】きずの手当	10月12日(火)	10:30~11:30
ちょっと知ってみたい。認知症 ☆	【健康生活支援講習】地域で支える認知症	10月12日(火)	14:00~15:00
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	10月28日(木)	10:30~11:30
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	10月28日(木)	14:00~15:00

☆印の講習は講義のみです。それ以外には実技を含みます。
※企業や各種団体でも赤十字オンライン講習にお申込みいただけます。必要に応じて上記日程以外でも開催することができますので、当支部救護課講習係にご連絡いただき、社内研修等にご活用ください。

申込み <https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/online/>

対面式での講習については、支部ホームページをご確認ください



▲傷病者を保温するために毛布に覆させる実技



▲三角巾と棒などを使った止血帯の実技

講習についての最新情報につきましては、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認くださいかお電話にてお問い合わせください。

講習に関するお問い合わせ

Tel.078-241-1499

ホームページ(講習のページ)

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/>

遺言・相続財産・お香典でのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えていきます。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。
お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課)まで

※隔月(奇数月)に発行しています。

日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨海海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字 9月号 [2021年9月1日発行]

Japanese Red Cross Society Hyogo Chapter

ひょうごの 赤十字+

2021
9

■ ホームページ
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>
■ インスタグラム
https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/
■ Facebook
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>



いのちと健康を守る活動に
ご協力感謝いたします。



▲令和3年7月大雨災害義援金の募金活動を行った南あわじ市立福良小学校の皆さん

- 愛の血液助け合い運動月間のご報告
- 令和3年度青少年赤十字 Action Programを開催しました
- 令和3年7月大雨災害義援金へのご協力ありがとうございます
- 尼崎市で「こども救急法教室」を開催しました
- 講習のご案内

愛の血液助け合い運動月間のご報告

兵庫県赤十字血液センターでは、7月の「愛の血液助け合い運動」月間に合わせて、7月7日に神戸製鋼コベルコスティーラーズ5選手の献血アンバサダー就任式を行いました。

7月10日(土)、24日(土)には、三宮センタープラザ“1日献血ルーム所長”に就任。期間中、家族連れや友人同士など、献血が初めての方も久しぶりの方も、多くの皆さまに献血ルームに来ていただきました。

ラグビー選手と一緒に写真を撮るといことで緊張されている方もいらっしゃいましたが、皆さん最後には笑顔を見せていただきました。献血ルームに来ていただいた日が皆様の思い出となり、また思い出していただいた頃に献血ルームにお越しいただければ幸いです。

そんな記念日を作っていた1日所長の徳田選手、前田選手、井上選手、中選手、濱野選手、そして何より献血にお越しいただいた皆様、本当にありがとうございました。



▲左から中選手、濱野選手、徳田選手、前田選手、井上選手



～献血協力企業のご紹介～

総合人材サービス「パソナグループ」様

総合人材サービス「パソナグループ」では、良き企業市民として持続可能な地域社会づくりに貢献するため、環境保全・地域活性・障害者支援・社会福祉など、地域に根差した社会貢献活動を全国で企画・推進しています。2019年度は、国内180件、国外32件の活動が社会貢献委員を中心に企画され、のべ約7,200人が活動に参加しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で献血イベントの中止が相次ぎ、献血量が減っているという課題を受け、日本赤十字社と連携し、東京・大阪・淡路島の拠点にて、献血活動を実施いたしました。

今後、ひとりでも多くの方が献血活動に協力できるよう、パソナグループでも積極的に取り組んでまいります。



令和3年度青少年赤十字 Action Programを開催しました

新型コロナウイルス感染症の影響により、「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター」を宿泊型で実施することが困難となったことから、「令和3年度青少年赤十字 Action Program～コロナに負けない未来に向かって!～」と題して、オンラインでの学習会と参集するプログラムを行うこととなりました。

8月4日(水)にオンライン学習会を開催し、青少年赤十字加盟校から32名の参加がありました。オンライン学習会では、青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの要素を採り入れ、「赤十字について」、「青年赤十字奉仕団と私たち」、「ボランティアサービス」、「コミュニケーションとリーダーシップ力」についての講義、最後に各グループに分かれて自己紹介を行い、親睦を深めました。また、講義内容は、兵庫県支部のホームページにてオンデマンド配信しました。

8月6日(金)には、兵庫県支部においてAction Programを開催し、青少年赤十字加盟校から37名の参加がありました。Action Programでは、昨年度開催したオンラインイベントで計画した「青少年赤十字の紹介やコロナ予防啓発に関するポスター作成」、「医療従事者へのメッセージボードの作成」、「コロナに負けない!地元紹介PR動画づくり」をそれぞれのグループに分かれて活動を行いました。ポスター作成やメッセージボードの作成は、電子黒板を活用するなど、新たな取り組みとなり、これまでにない作品が完成しました。作成したポスターは今後、県内の青少年赤十字加盟校に配布し、医療従事者へのメッセージボードは神戸赤十字病院に掲示しています。

参加者からは「まだまだコロナが終息しない中、懸命に活動されている医療従事者へ少しでも応援になれば嬉しい」、「完成した動画が地元の観光などのPRにつながれば地域の活性化になる」との感想がありました。

PR動画では、参加した加盟校の地元にある観光地やグルメスポットなどを事前に撮影し、当日は参加者同士工夫を凝らしながら制作しました。完成した動画は、兵庫県支部のホームページで紹介していますので、是非ご覧ください♪



令和3年7月大雨災害義援金へのご協力ありがとうございました。

令和3年7月1日からの大雨により、静岡県・島根県を中心に甚大な被害が生じました。日本赤十字社では、災害発生当初より医療救護活動やこころのケア、救援物資の配布などの救護活動を行いました。



▲静岡県熱海市の土砂災害の様子

▲避難先でこころのケアにあたる静岡赤十字病院のこころのケア要員

南あわじ市の小学校児童会と中学校生徒会から義援金をお預かりしました

令和3年8月5日、南あわじ市立の小学校児童会と中学校生徒会の代表5名が、先生と南あわじ市教育委員会事務局の方とともに「令和3年7月大雨災害義援金」を持って来庁されました。持参いただいた義援金は、熱海市で発生した大規模土石流による災害について学習した市立福良小学校の児童が「被災された人たちに何かしてあげたい」との思いから、募金活動を行い集められたものです。市立福良小学校の児童会ならびに市立南淡中学校の生徒会は、募金を呼びかけるポスターや協力への依頼文、そして募金袋を作成するなどして市内の小中学校(21校)へ協力を依頼しました。地域の方や市役所関係の方の協力を得て活動の輪が広がっていきました。夏休み中の募金活動のため、ご苦勞もあつたとお伺いしましたが、児童・生徒そして市民の皆さんの心のこもった沢山の義援金をお預かりいたしました。生徒の一人は、「はじめは募金が集まらず、ポスターを作ったりなどで工夫しました。熱海市の皆さんの元気につながればと思って活動をしました。被災地の1日も早い復旧を願っています。」と話してくれました。



日本赤十字社では、令和3年7月1日からの大雨災害で被災された方々を支援するため、義援金を受け付けています。詳しくはこちら → <https://www.jrc.or.jp/contribute/help/37/>
お預かりしました義援金は全額、被災自治体を通して被災地の皆さまにお届けいたします。皆さまの温かいご支援をよろしく願っています。